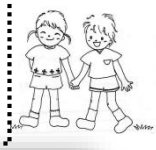
さくら新聞

～笑顔ｄｅ共育て～

平成28年10月1日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町7－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

主題
思い切り身体を動かそう
今月の保育のねらい
・戸外活動を十分に楽しみ、落ち着いてじっくりあそぶ　・集団あそびを楽しむ



本格的な秋の始まり

秋雨前線が長い間滞在した文月、実は一年で一番雨がふるのは梅雨ではなく九月だそうです。その統計のごとく、先月は、雨の日が多く、十日以上連続で雨とお付き合いした時期もありました。

しかし、神無月を迎え、空は高く青く、コスモスの群れが涼やかな風の思うままに大きく揺れ、秋明菊が白と薄紅の花をつけて、本格的な秋が始まることでしょう。

季節の変化を感じながら思い切り活動出来るように心配りをしていきたいと思います。

中間反省 ～子どもから　考える～

平成28年度も6か月が過ぎ、今月の園内研修では中間反省を行うことになっています。前半の振り返りを行うにあたり、今年度は『どのような内容、方法で実施したいか?』クラスごとに考えて提案することになりました。各クラスの意見を受けて研修担当が方向性を示してくれると思います。

さて、ここでは私見を述べさせていただきます。

一人ひとりの子どもたちは、ものすごく考えて毎日を生きているのですがその『子どもたちの権利』を大事にできているかしら?「一人一人に応じた」・「丁寧な」・「子どもの気持ちを受け止めて」等々の言葉が、指導計画や保育日誌、お便りには度々書かれています。でも、再度考えてみたいと思います。

保育環境の見直しや遊具の入れ替え、生活面の見直し、子どもへの対応の仕方等において、もしかすると、「昨年もこの時期からは～してた」「今までさくらでは○○してきたから」「△△が言ったから」というような理由を述べて判断してしまうことはなかったかな?子どもをよく見て状況を捉えているようで実は、経験値や感覚で保育していることはないかな?等、真摯な気持ちをもって、中間反省が出来るようにしていきたいというのがわたくしの本音です。

子どもは、自分の声を聴き取られる権利と、自分の声が正当に評価される権利をもっています。ですから、保育の中で子どもの声をきちんと聴き取ることがなによりも大切だと思うと同時に、保育の中で「どうかな?」「どうしようかな?」と迷った時には、子どもが私たちに、ヒントや答えを必ず示してくれていることを忘れないようにしたいです。

乳幼児の保育において、当たり前ですが、改めて『子どもから考える』を保育の根っこにおきたいと思います。

10月　行事予定

日	曜日	内　容
1	土	運動会
3	月	身体計測（乳児）
4	火	身体計測（3･4歳児）
5	水	身体計測（5歳児）
6	木	ふれあい環境学習
11	火	おはなし会（幼児） 視力検査（4・5歳児）
13	木	アートくらぶ（5歳児）
14	金	避難訓練
17	月	うんどうあそび（幼児）
19	水	父母の会主催観劇会
20	木	秋の健康診断（全園児）
21	金	アートくらぶ（4歳児） 委託園交流会（5歳児）
27	木	光和小学校まち探検
28	金	年長思い出遠足（日和田山）
31	月	うんどうあそび（幼児）

①5・19・26日⇒さくらんぼくらぶ
②5・26日⇒家庭的保育者受託児のふれあいランチ
③19日⇒さくらんぼくらぶふれあいランチ

お知らせ

①保育園入園希望者の園見学会
12・26日　10：00～10：45
②ペットボトルキャップを届けるために5歳児クラスがリサイクル工場に出かけます…4日
③石神井町つつじ保育園・高野台保育園・石神井町さくら保育園3園の委託園交流会があります。（5歳児）内容は企画中！